

# ボランティアセンターだより

## ボランティアグループ紹介

### スマイル

《災害支援ボランティア「スマイル」をよろしく!》

豊中市社会福祉協議会(以下 市社協)は阪神淡路大震災教訓を生かし、平成8年に災害支援ネットワークを結成し運営してきました。その後、東日本大震災、熊本地震、大阪北部地震、能登半島地震等大地震が発生しました。そして市社協の声掛けで「スマイル」が新しく発足しました。豊中市内外で発生する災害支援ボランティア活動(災害支援訓練、研修会、被災地との交流会、イベント等)企画運営を市社協とともに行ってまいります。



### タブボラ

《多文化共生ボランティア(タブボラ)のご紹介》

本会は市社協の下に令和6年4月に発足した新しいボランティアグループです。年々、豊中市にも異文化・多言語への対応が必要となることも増えてきております。タブボラでは、外国人世帯への個別支援活動等を目的とし、日本語の指導や他機関と協力し、凧あげ大会や野菜収穫体験、たこ焼き大会などの交流会を中心に行っております。本年度は外国人視察団の対応も行いました。今後、その国数及び人数は益々増加すると予想されますので皆様のご理解、ご協力、ご参加を期待しております。

### わらびっこ

《わらびっこのご紹介〜〜〜★》

「わらびっこ」は、市社協とともに子どもたちの文化的なイベントや研修会の企画を行うことを目的に今年度発足しました。市内で子ども食堂を開催する団体が一同に会した「こども縁日」や「アートフェスティバル」、1月には定時制高校の生徒や教職員にカレーを提供する「夜桜 YELL 食堂」など市社協の事業に参加協力をしました。

素敵な仲間と緩やかにつながり、楽しみながら活動を続けていきたいと思っております。



# 豊中市社協福祉大会 & 豊中ボランティアフェスティバル ～つながろう、支え合おう、広げよう！TOYONAKAの輪～

令和6年11月23日（土）に地域共生センターにて「豊中市社協福祉大会 & 豊中ボランティアフェスティバル」を開催しました。ステージ発表では歌体操、スコップ三味線・腹話術、ハーモニカ演奏を披露し、多くの方に楽しんでいただきました。ボランティア体験コーナーでは手話、点訳、ペーパークラフト、ユウ・あい号試乗、ノルディックウォーク、車いす・アイマスク、高齢者疑似体験、手作り介護用品展示を実施し、子どもから大人まで幅広い世代の方にボランティア活動や福祉について知っていただく機会となりました。ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

## スタンプラリー受付



## 体験コーナー

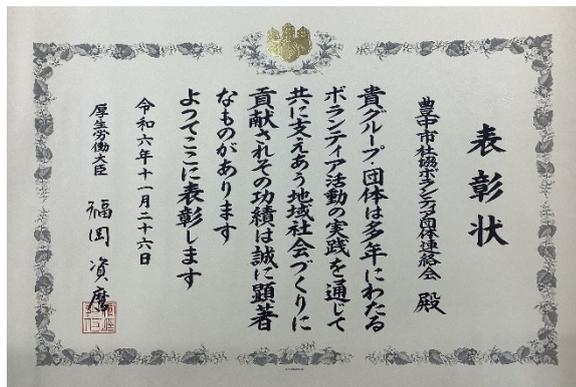


福祉大会のなかで、長年ボランティア活動でご活躍いただいているグループや個人の方に感謝状を贈呈しました！



## 厚生労働大臣表彰を受賞！

豊中市社協ボランティア団体連絡会が、ボランティア功労者（団体等）として令和6年11月26日（火）に開催された「全国社会福祉大会」において表彰されました！皆さま方の地域の人々へ長きに渡るご尽力に対して深く感謝申し上げます。



# 災害ボランティアセンター運営訓練

令和 7 年 1 月 18 日（土）に地域共生センターにて豊中市社協災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました。今回は、初めて ICT（アプリでボランティア登録や資材貸出などを管理できるシステム）を利用した訓練を企画しました。当日は、50 名程のボランティアの方々にご参加いただきました。



## 災害支援フォーラム

### 「阪神・淡路大震災から30年～あの時を忘れない～」

令和 7 年 1 月 23 日（木）豊中市文化芸術センター多目的室にて災害支援フォーラムを開催し 150 名を超える参加がありました。今年は阪神・淡路大震災から 30 年の節目の年。講演として、神戸大学名誉教授の室崎益輝さんに阪神淡路大震災から 30 年を振り返ってこれまでの災害支援についてお話いただきました。その他にも、豊中市社協の災害支援についての報告、ボランティアや当事者によるパネルディスカッション、「しあわせ運べるように」の合唱、保育園児からの歌、「おひさまいろのりんご」の絵本朗読など盛りだくさんの内容で実施をしました。能登支援の物産展やパネル展も行い、災害について深く考える時間となりました。



合唱（しあわせ運べるように）有志メンバー+手話サークル「虹」



室崎先生の講演



「豊中市社協の災害支援の取り組み」「阪神・淡路大震災パネルディスカッション」



「豊中社会福祉協議会の災害支援の取り組み」「パネルディスカッション」



### 【年賀状ボランティア】

昨年11月下旬、毎年恒例の年賀状ボランティアを開催しました。豊中市内の一人暮らし老人の会会員のみなさん583名にお送りする年賀状を作成しました。

毎年参加して下さる方、初参加の方、お久しぶりの方、職場体験で豊中市社協に来ていた中学生などたくさんの方々が参加してくださいました。宛名書きが得意な方、イラストが得意な方、消しゴムはんこが得意な方、切り絵などがそれぞれの特技を生かして心あたたまるメッセージやイラスト付きの素敵な年賀状が出来上がりました。

受け取ったみなさんからも喜びのお声をたくさんいただいております。みなさん本当にありがとうございました。



### 【福祉体験学習の取り組み】

第十四中学校では、1年生(5クラス177名)を対象に福祉体験学習を行いました。各クラスで手話体験、点字体験、車いす体験、アイマスク体験、インスタントシニア体験を実施し、生徒たちは意欲的に取り組んでいました。車いす体験はセント・ポプリの方にもご協力いただき、より学びを深めることができました。



### ★生徒の感想より★

●車いすにすわって押してもらったとき、すわって移動するというのが新鮮だった。押すとき、乗っている人の命を気づかっていると聞いて、大事な役割だから細心の注意を払わなきゃと思った。もし人が困っていたら、助けられるような人になりたいと思った。小さい頃から苦労して来た人もたくさんいるから、そういうのを気遣えるような人になりたいと思った。

●点字は、目が見えない人からしたら大事だし、車いすも歩けない人にとっては大事で、障がいのある人からしたら、これからの人生の中で、とても大切になることを知れたから良かったです。今日学んだことを、生かしていけたらいいなって思いました。

### 【編集後記】

地震、雷、火事、親父は怖いもののたとえですが、この冬の東北の山火事は、なかなか鎮火せず、改めて山火事の怖さを感じます。

日本は自然災害が多い国ですが、特に去年からの能登半島地震に始まり、極端な夏の酷暑、豪雨、冬の豪雪、さらに山火事と地球温暖化の影響か、自然環境が大きく変化しているように思われます。

東南海地震とか、大きな災害がいつ起こるかわかりませんが、その時に備えて普段から心構えをしたいものです。

(アッシー S)

◎活動に興味のある方はお問い合わせください。

☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会ボランティアセンター「ぷらっと」

住所：豊中市中桜塚2-29-31

地域共生センター東館2階

電話：06-6848-1000

FAX：06-6841-2388

メール：[tcpvc@gold.ocn.ne.jp](mailto:tcpvc@gold.ocn.ne.jp)



ホームページ



Facebook

